

メルセデス・ベンツ SLクラス

Press Information

「新型メルセデス・ベンツ SL 63 AMG」を発売 および「メルセデス・ベンツ SL 65 AMG」を大幅改良

2008年5月28日

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:ハンス・テンペル、本社:東京都港区)は、メルセデス・ベンツの最高級ロードスター「SLクラス」のトップパフォーマンスモデル「SL 63 AMG」と「SL 65 AMG」を、本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じ発売いたします。

SL 63 AMGとSL 65 AMGは、新しいトレンドの中に伝統的デザインを取り入れたダイナミックなエクステリアにするとともに、乗員の首周りに温風を吹き出すエアスカーフなどを採用し、実用性と快適性を大幅に向上させています。

また、夜間のあらゆる走行状態で最良の視界を確保する「インテリジェントライトシステム」や、急ブレーキを効果的かつ迅速に後続車に知らせる「アダプティブブレーキライト」の採用により、安全性をさらに高めています。

さらに、新型SL 63 AMGに搭載される6.3リッター V8エンジンは、メルセデスAMG社の独自開発により、圧倒的なパワーとシャープなエンジンフィールを実現しています。これに組み合わされるAMGスピードシフトMCT(電子制御式7速トランスミッション)は、従来のトルクコンバーターに代わり、湿式多板クラッチを採用し、マニュアルトランスミッションのようなダイレクト感と、スピーディなシフトチェンジを実現しました。

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

モデル	ステアリング	メーカー希望小売価格 ()内は消費税抜き車両本体価格
SL 63 AMG	左	¥19,100,000 (¥18,190,477)
SL 65 AMG	左	¥29,200,000 (¥27,809,524)

* 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。

・ よりダイナミックになったエクステリア

- ー 20mmワイドになったフロントグリルに、伝説のガルウイングモデル「300SL」から継承される1本ルーバーのフロントグリルを採用するとともに、精悍さを増したヘッドライトにより、ダイナミックな中に伝統を感じさせるフロントフェイスになりました。
- ー 空力性能に優れたディフューザーとトランクリッドスポイラーリップを装着し、操縦安定性を高めつつ、デュアルツインクロームエグゾーストエンドとあいまって圧倒的なパフォーマンスを印象づけるリアビューを演出します。

・ 実用性と快適性が大幅に向上したインテリア

- ー キーを携帯しているだけで、リモコン操作をすることなくドアの開錠/施錠ができる「キーレスゴー」を採用し、荷物が多いときでも容易に乗降できます。また、シフトレバー上部のENGINE START/STOPボタンを押すだけでエンジンを始動することができます。
- ー シート内部にセラミックヒーター備え、乗員の首周りに温風を吹き出す「エアスカーフ」を全車に標準装備し、寒冷時においても快適にオープンエアドライブを楽しむことができます。
- ー HDDナビゲーション、地上デジタル放送対応テレビ、音楽CDを録音するミュージックレジスターや全キャリアに対応したBluetooth[®]による携帯電話ハンズフリー機能を統合したCOMANDシステムを装備し、実用性と快適性が大幅に向上しています。
- ー サウンドシステムには「harman/kardon」製のサウンドシステムであるLOGIC7[®]の採用により、10スピーカー総合510Wのパワーと併せて、力強く迫力あるサウンドを提供いたします。

・ 圧倒的な存在感を醸し出すSL 65 AMG

- ー SLクラスの頂点に相応しく驚異的なパワーを誇るツインターボチャージャー付6リッターV型12気筒エンジン(最高出力612PS、最大トルク1,000Nm)を搭載した最上級パフォーマンスロードスターです。エクステリアには、19インチAMG5ツインスポークホイール、およびAMGデュアルツインクロームエグゾーストエンドを採用し、圧倒的な存在感を演出します。またインテリアでは、クローム付AMGスポーツステアリングに加え、本モデル専用のダイヤモンド形状ステッチをあしらったデザインが、特別感を更に高めています。

・ スポーティな走りを実現する走行性能

- SL 63 AMGには、メルセデスAMG社の独自開発により、最大出力525PS、最大トルク630Nmの圧倒的なパワーとシャープなエンジンフィールを実現した6.3リッターV型8気筒エンジンを搭載し、0-100km加速において4.6秒という圧倒的な性能を誇ります。
- SL 63 AMGに搭載されるAMGスピードシフトMCT（電子制御式7速トランスミッション）は、エンジンの動力を伝える従来のトルクコンバーターに代わり、湿式多板クラッチを採用し、マニュアルトランスミッションのようなダイレクト感と、スピーディなシフトチェンジを実現しています。

AMGスピードシフトMCTでは、「C（コンフォート）」、「S（スポーツ）」、「S+（スポーツプラス）」、「M（マニュアル）」の4つのシフトプログラムモードを選択できます。「C」モードは2速発進とともに積極的に次のギアへシフトチェンジをすることで、ゆとりある快適なドライビングを楽しむことができます。「S」モードは「C」モードに比べ高回転域でギアチェンジを行い、ギアチェンジに要する時間も20%早くなります。「S+」モードでは、ギアチェンジのタイミングがさらに20%早くなるため、よりスポーティなドライビングが可能となります。「M」モードではギアチェンジを全てティップシフトまたはステアリングホイールの裏側に設置されるパドルシフトで行います。さらに、ギアチェンジに要する時間が「C」モードより50%早くなる（約0.1秒）ため、レーシングカーを操るようなアグレッシブなドライビングを楽しむことができます。
- さらに、AMGスピードシフトMCTにシフトダウン時の自動スロットルブリッピング機能を採用しました。この機能はブリッピングサウンドにより、ドライビングをより楽しめるものにするだけでなく、シフトダウンによるショックを大幅に低減することで荷重変化への反応を軽減することから、急激な減速時に大きな効果を発揮します。（「S」、「S+」、「M」モード時に起動）
- SL 63 AMGには、レーススタート機能が装備されています。これは、駆動輪に最適なトラクションを確保し、最大限の加速を実現します。この機能は、発進時に最適なエンジン回転数を自動で設定するため、すばやい加速が行えます。レーススタート機能による加速ではマニュアルでのギアシフトは不要となり、「S+」モードでの自動シフトを行います。
- SL 63 AMG、SL 65 AMGともにエンジンの大出力に対応し、電子制御式油圧サスペンションのアクティブ・ボディ・コントロールや専用強化のキャリパーを備えたAMGブレーキシステムを装備し、極めて高いパフォーマンスと高度なアクティブセーフティを両立しています。

・ さらに高められた安全性

- あらゆる走行状態でヘッドライトの照射を最適にコントロールし、最良の視界を確保する「インテリジェントライトシステム」を両モデルに標準装備しています。これは、従来までのアクティブライトシステム&コーナリングライトに加え、新たに3つの機能を備えた可変式ヘッドライトシステムです。

カントリー(一般道)モード

ロービームでの通常走行時に対向車線側をより明るく照らすことで視界を広げ、夜間時の運転をサポートします。

ハイウェイ(高速道)モード

90km/h以上での走行時に、速度に応じてロービームの照射範囲を2段階で拡大します。より遠くまでの視界を確保します。

フォグランプの機能強化

70km/h以下でリアフォグランプを点灯時に、道路端までを広く照射することで、悪天候の中でも自車の走行ラインの確認を容易にします。

- 走行時のブレーキ操作において車両が緊急性のあるブレーキと認識した際にブレーキライトが点滅し後続車両に緊急性のある減速・停車を効果的かつ迅速に知らせる「アダプティブブレーキライト」を装備しています。

なお、SL 63 AMGとSL 65 AMGにも、メルセデス・ケア(3年間走行距離無制限の無料修理・無料メンテナンスと24時間ツーリングサポート)が適用されます。

「Culture of Driving 走ることへの、情熱、思想、責任。」

「自動車を発明した会社としての責任を果たすべく、常に未来に向けた自動車造りに情熱と思想を持ってチャレンジし、自動車を取り巻く環境すべてをリードしていく」

メルセデス・ベンツは自動車を提供するだけでなく、自動車文化をこれからも生み出していくという思いを込めたスローガンです。